



これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめきり 6月13日(内必着)あて先 〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市企画課 親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の人に図書券を進呈
- ◎第219回親子クイズの答えは、モンシロチョウでした。
- 第289回当選者発表(敬称略)
(応募総数22通)
- 私光 由佳(浜改田)
- 浜田 誠子(〃)
- 二宮 良枝(廿枝)
- 坂本 沙樹(上末松)
- 柳瀬 章恵(久礼田)

★ 思い出がいっぱい ★

◆春になると、すぐに思いうかぶのはもなしらちょうです。うきうきとした気分になってきます。

(尾木 美穂)

◆学生のころ、庭でキャベツがとれるころになると、そのまわりを何匹ものちょうが楽しそうに飛んでいたのを思い出します。キャベツには、まじもなしらちょう予備軍の小さな青虫がいっぱいいて、食べた穴もいっぱいあいていて、農業を使っていないやわらかいキャベツは格別たろうすとホノボノとした気分で見ました。

(二宮 良枝)

◆花が大好きでたくさん植えて楽しんでいました。春になると、その花にたくさんのおちょうちょうやハチなどが来てかわいらしい姿を見せてくれます。

(森尾 要子)

◆ちょうちょう ちょうちょう菜の葉にとまれ 葉の裏にあいたら……などと唄った昔、遠い遠い昔の思い出となりました。子ども・孫・ひ孫と次々と唄いついで参りました。

(田村 光枝)

われら サークル仲間



どんぐり倶楽部

毎週日曜日の午前中、長岡西スポーツ公園(仮称)テニスコートで活動をしているこのクラブは、'92年度に実施された市立中央福祉館主催のテニス教室に集まったメンバーなどで構成。

現在、40人のクラブ員登録があり、小学生から70歳以上の幅広い年齢層で活動しています。「どんぐり倶楽部」という名前は、クラブ員一人ひとりが持ち寄った中で、「山の麓のテニスコート」「実力はどんぐりの背比べ」といった理由で決定されたそうです。

年2回のテニス教室や年1回の泊交流合宿を行い、技と親睦を家族ぐるみで深めています。また、テニスだけでなくとどまらず、人権問題学習会なども行っています。

会長の石川信昭さんは、「メンバー全員が気さくなばかりだから、興味のある人はぜひのぞきにきてほしい」と話していました。なお、刈草グループも募集中。

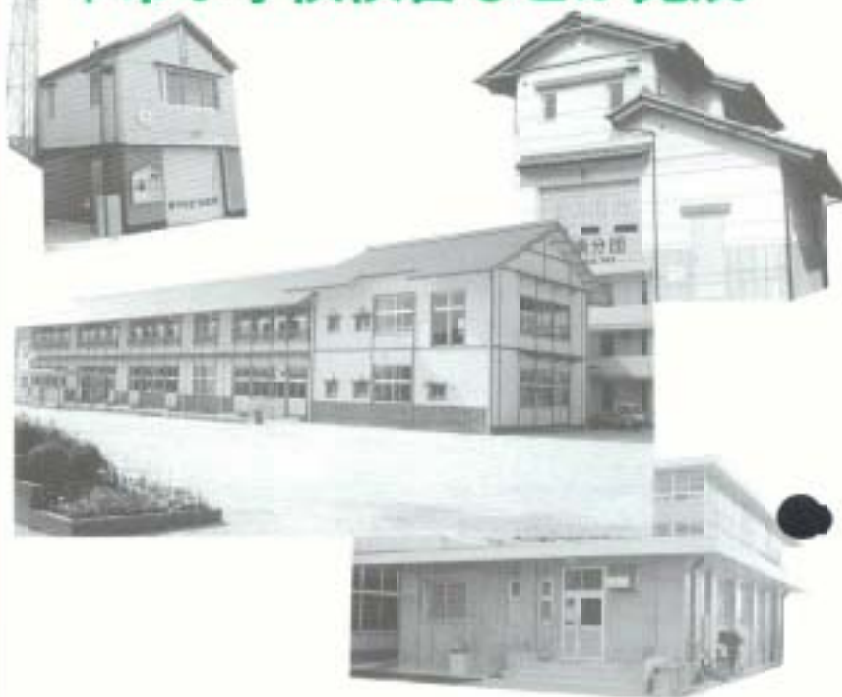
まるで以前から知り合いばかりだったような、そういう雰囲気のあるクラブです。

クラブについての問い合わせは、市立中央福祉館 ☎3220)まで



みんなの

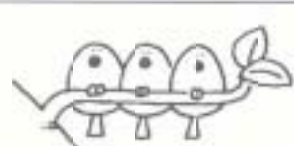
十市小学校校舎などが完成



市は簡易保険郵便年金積立金還元融資を受け、平成7年度で建築工事を進めていた十市小学校校舎、日章小学校給食棟、岩村消防屯所、浜改田消防屯所がこのほど完成しました。

十市小学校校舎(写真中)は、十市パークタウンの建設にともなう児童の急増に対応するため、増築工事を進めていたもの、潤いのある木を基調とした近代的な校舎で、木造一部コンクリート造2階建、延べ床面積1131㎡となっています。このほかの3施設は、それぞれ建物の老朽化にともなう改築工事で、日章小学校給食棟(写真右下)は、鉄筋コンクリート造、延べ床面積135㎡。岩村消防屯所(写真右上)は、鉄筋コンクリート造、延べ床面積78.5㎡。浜改田消防屯所(写真左上)は、鉄筋コンクリート造、延べ床面積72㎡となっています。

広場



現在、約二十鉢に植えられた花を育てていますが、種が全体の一割ほどしか採れないため、増やすことに苦労しているとか。「種が少ないために種や苗をわけて上げることができませんが、いつでも見に来てください」とやさしい笑顔で答える田淵さん。すでに全国各地からの参観者もあつたそうです。



このアサガオは、田淵さんが三年前より改良を重ね、我が子同様に愛しみながら育てたものです。直径は、普通のアサガオの五分の一の十八ミリほどしかなく、本当に愛らしい姿で映っています。また、花が小さいばかりではな

く、茎の下方まで咲いたり、強い雨に打たれたら、葉を巻き込むなどといった特徴があるそうです。名前は正式には決まっていますが、田淵さん自身は、「アサガオ系小町」とか「ミニ・アサガオ」と呼んでいます。

手のひらサイズの鉢植えで、毎日アサガオとニラメッコしながら、研究を続ける田淵さんへの期待が高まっています。

※左上下の写真は、今西啓さん(土佐町)撮影。

岡豊町笠ノ川に住む田淵治治さんは、アサガオを品種改良し、『ミニ・アサガオ(仮名)』を育てています。

アサガオの新種!?



熱心にミニ・アサガオの説明をする田淵さん